

東京が持続的に発展していくためには、長期的かつ広域的な視点を持つとともに、人々の暮らしや働き方に関わる産業、福祉、文化などの分野も考慮し、都市の将来像を描き、その実現に向けた都市づくりに取り組んでいく必要がある。

## 主な社会背景

- 本格的な少子高齢・人口減少社会の到来

人口 (2010) 1,316万人 → (2040) 1,242万人

高齢化率 (2010) 20.4% → (2040) 32.5%

- 国際的な都市間競争の激化
- 切迫する自然災害の脅威
- 深刻化する環境・エネルギー問題
- パラダイムシフトとなる技術革新の進展 (自動運転など)

2040年代を見据え、成熟社会にふさわしい、より良い都市づくりを具体化

## ◆東京都都市計画審議会 答申 (平成28年9月) の概要

(2040年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について)

### 目指すべき東京の都市像

社会的・経済的に一体となった圏域が連携し、世界や日本の活力をリードするとともに、生産性の向上がもたらすゆとりを楽しみ、ライフスタイルの多様化に対応できる都市を目指す

### ○都市の理念

- 新たな価値を生み続ける場として「選択される」都市
- 質の高い住まい方・働き方・憩い方を「選択できる」都市

### ○都市づくりの7つの目標

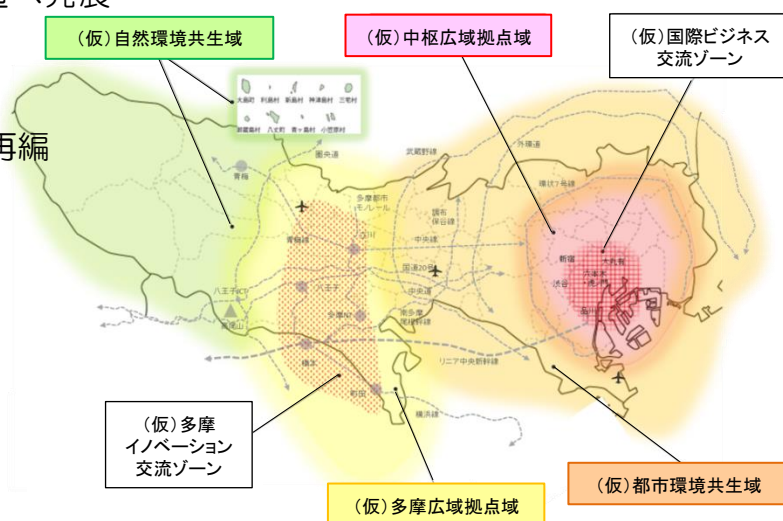
- 経済活力向上のための拠点づくり
- 人・モノ・情報の自由自在な交流の実現
- 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築
- ライフスタイルに応じて選択できる場の提供
- 生活を支える拠点への集約化と多様なコミュニティの創出
- 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築
- 文化・芸術・スポーツによる都市の新たな魅力の創出

### ○目指すべき都市構造

- より広域的に交流を促進する都市構造へ発展 (三環状の概成、リニアの開通)
- 個性ある多様な拠点を形成 (地域のポテンシャルを最大限発揮)
- 身近な生活機能を集約した地域構造へ再編 (人口減少の中でも小さな拠点を形成)

### ○地域像(地域別のイメージ:右図)

- 都全体を4つの地域に区分
- エンジンとなる2つのゾーンを設定



## 地域別の将来イメージ

(多摩・島しょ地域の抜粋)

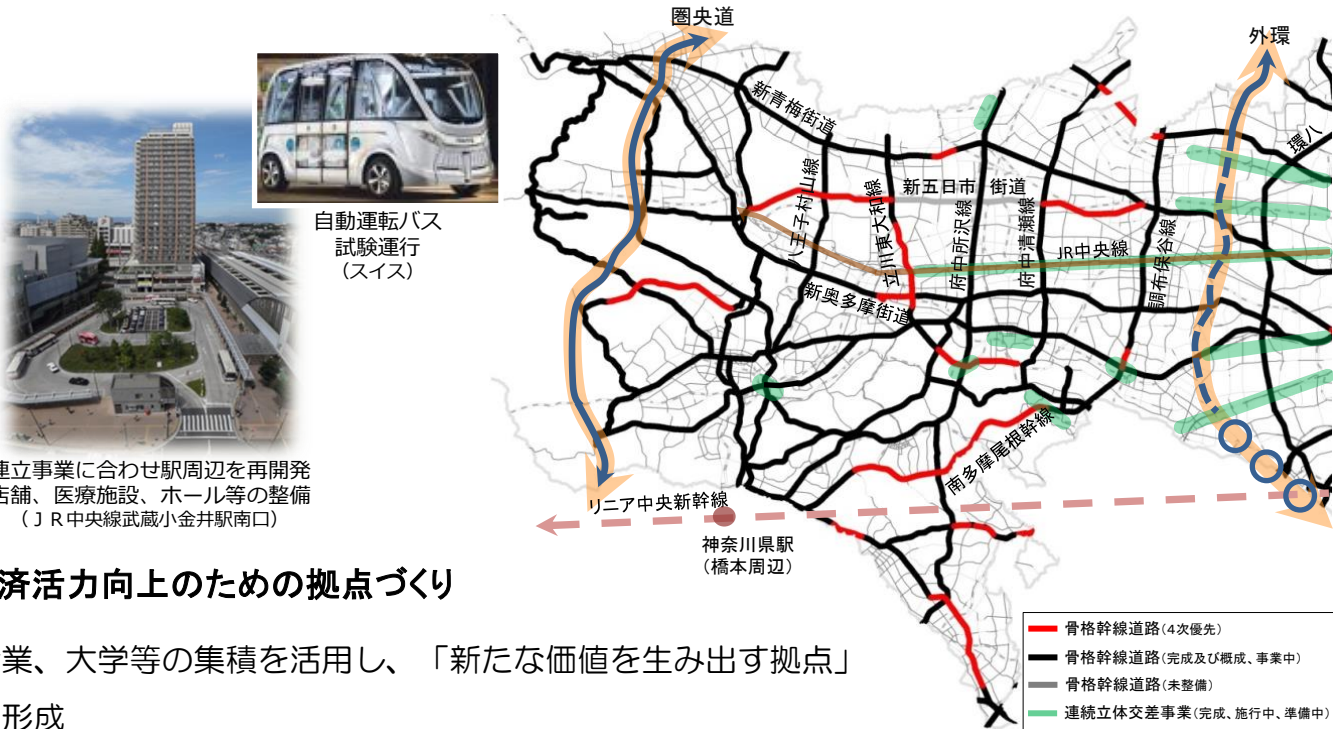
- ・ インフラの充実により人・モノの交流が活発化するとともに、研究・ものづくりなど先端的な拠点が相互に連携し、多様なイノベーションが生み出されている。
- ・ 駅周辺など身近な拠点は、日常的な生活サービスが集積し、誰もが安心して暮らしている。
- ・ 世界に誇る豊かな自然が保全され、独自の魅力を発信するとともに、医療や情報などの最先端技術を活用し、安全な暮らしの場が確保されている。

## 主な取組の方向性

(多摩・島しょ地域の抜粋)

### ○ 人・モノ・情報の自由自在な交流の実現

- ・ 道路ネットワークの活用と強化により拠点間の連携を促進
- ・ 三環状道路等の整備効果を生かし道路空間を再編
- ・ 公共交通を軸としたフィーダー交通を地域の特性に応じて導入
- ・ 自動運転技術などを活用し、安全で快適な交通を確保



自動運転バス  
試験運行  
(スイス)

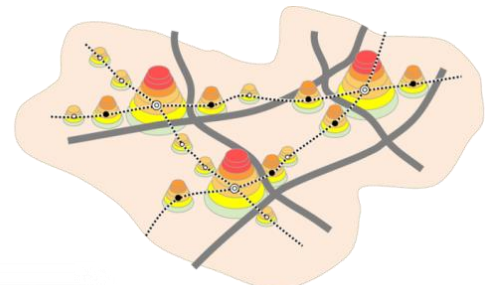
連立事業に合わせ駅周辺を再開発  
店舗、医療施設、ホール等の整備  
(JR中央線武蔵小金井駅南口)

### ○ 経済活力向上のための拠点づくり

- ・ 企業、大学等の集積を活用し、「新たな価値を生み出す拠点」を形成
- ・ リニア中央新幹線や圏央道等の交通ネットワークにより、拠点間の交流を促進・強化

### ○ 生活を支える拠点への集約化と多様なコミュニティの創出

- ・ 主要駅周辺等へ様々な都市機能や子育て、高齢者支援など生活利便機能の集約を進め、地域の核を形成
- ・ 都営住宅等の公的不動産の建替えによる創出用地をコミュニティ形成等の場として活用



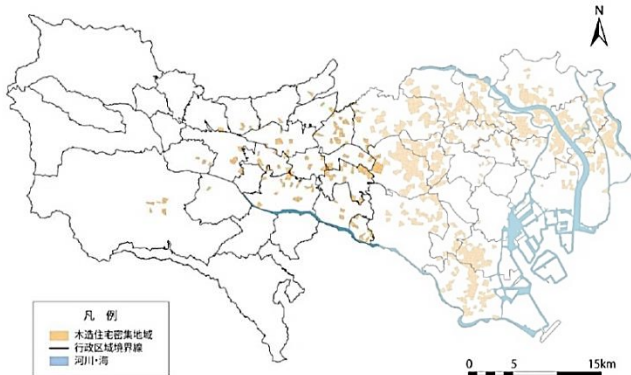
身近な生活を支える拠点を  
道路・交通網で結び、交流を促進



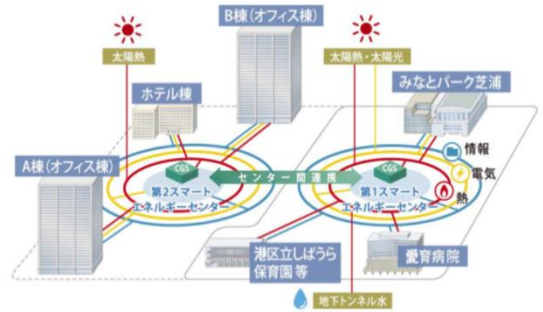
都住創出用地を活用した  
保育園や高齢者福祉施設等の整備  
(八王子市)

## ○ 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築

- ・ 木造住宅密集地域の耐震化・不燃化にあわせ、既存建物の老朽化を想定した計画的・長期的な防災・減災対策の推進
- ・ 再生可能、未利用エネルギーの利用促進や、エネルギーのネットワーク化による地区・街区での高効率化などによって、「CO<sub>2</sub>フリー社会」に向けた都市づくりを推進



多摩地域の木造密集地域の状況  
(防災都市づくり推進計画 H28.3)



<II街区(西側エリア)> <I街区(東側エリア)>  
面的なエネルギーネットワーク構築のイメージ  
(港区 田町駅東口地区)

## ○ 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築

- ・ 都市農地を最大限保全し、都市の貴重な資源として多面的に活用
- ・ 豊かな自然や魅力ある景観、特産物を東京ブランドとして世界に発信
- ・ 島しょの自然環境の保全を図りつつ、アクセス手段、情報通信手段の充実



「農の風景育成地区」の指定により農地の保全を推進  
(世田谷区)



多くの人でにぎわう地元野菜の直売所  
(八王子市 道の駅八王子滝山)



島特有の風景や特産物  
(八丈島 玉石垣)



今後、答申を踏まえ、

平成29年度に「都市づくりのグランドデザイン(仮称)」を策定予定

- ・ パブリックコメントを実施するとともに、区市町村とも広く意見交換
- ・ 2020年に向けた実行プラン(仮称)や多摩・島しょ地域の振興策検討とも連携